

ふたりの女性の歴史 ～林塩（初代日本看護連盟会長）と中村かよ子（兵庫県自民党女性局の現・常任相談役）～



林 塩

初代日本看護連盟会長



中村かよ子

兵庫県自民党
女性局 現・常任相談役

昭和30年、保守・革新の2大政党時代から自由民主党が結成された後、昭和35年から昭和41年までの間、林塩初代会長が政権与党の自民党との関係を築き上げました。

また2023年10月11日、自民党本部で、中村かよ子現・常任相談役は若き小泉進次郎衆議院議員と対面して以下のようなご挨拶を述べられました。

「私は昭和28年(自民党結成前から)、初めて有権者としての一票を自民党に投じて以来、七十年近く、ひたすら自民党に投票してきました。自民党にも紆余曲折ある中で、嫌になること腹の立つことも沢山ありましたが、考えてみますと、自民党は何をしても何を話しても自由な政党です。…一部省略…自由と平和を守ってきたのもまた、自由民主党なのです。

勿論経済や教育など、大切な課題は他にも色々ありますが、今後もこの自由と平和な国を子供達に繋いでいけますように自民党の先生方にもお願い申し上げます。皆様も一層自民党を愛し、育て、そして応援して頂けますようお願い致します。」小泉議員は大層感激されました。同席した私たちも、壮大な歴史を感じました。

第2回シリーズ、前置きが長くなりましたが皆様のご感想をお待ちしております。

兵庫県看護連盟
会長 服部 玲子

林塩初代会長は父が神戸市奥平野、母は淡路島のご出身(自叙伝より)で看護連盟の会長に就任する前は、看護協会会長として10年間にわたり①看護師不足②厚生省看護課廃止後の復活運動等の受難の道を歩まれました。

同じ時代に兵庫県自民党女性局の中村かよ子現・常任相談役がいらっしゃいます。林塩初代会長と同じ時代に生きてこられたお二人は、きっと同じような思いで政治にかかわっておられたのではないのでしょうか。林塩初代会長は、著書の自叙伝「この道、幾山河」で「看護は一つ」を後世に伝えられました。

シリーズ2回目
(全5回)

看護職の歴史を学ぶ

届けよう看護の声を！私たちの未来へ」につなぐ

「温故知新」先輩から知識と技を学び未来へつなぐ

～『看護連盟設立後、政策実現のために自民党に入党した理由』～
1965年(昭和40年)～1975年(昭和50年)

- 1962年(S37) 林 塩 第6回参議院議員選挙当選
厚生省に看護課復活、社会保険に「基準看護制度創設」
- 1965年(S40) 石本 茂 第7回参議院議員選挙当選
看護教員養成費の新設、夜間看護手当の支給
- 1970年(S45) 石本 茂 第9回参議院議員選挙当選 自民党入党

看護連盟設立後、政策実現のために自民党に入党した理由

1. 法律制定や改正に携わるには与党でなければならない
野党・無所属では、看護関係の問題解決には繋がらない
2. 「看護制度の抜本的改正」の時期であり、石本茂氏の入党を日本看護協会の総会で承認

なぜ自民党に入党したのか

国会に代表者を送らなければ、看護界の問題は解決できない。当時、看護師の労働条件は悪く、安い賃金での労働を余儀なくされていました。そこで、多くの国民の支持を得ており、政策実現の可能性が一番大きい責任政党である自民党に入党しました。

行政と政治は一体で、大臣も政務次官も責任政党から出ており、責任政党に席を置いてこそ初めて行ったことが法律化され、あるいは実現していくのです。

看護の問題であれば文部省、厚生省、労働省、自治省(大蔵省、環境省、通産省も)との関連が重要となります。

看護職の労働賃金や医療費3表の改正に取り組まれました。

看護連盟と看護協会が一緒になって初めて看護職の行くべき道が開けるのです。

政治を理解し今後の自分たちの行く道や組織、連盟、協会が力を合わせて活動していく事が重要です。

但馬地区幹事 橋本みどり

【参考・引用文献】

1. 創立50周年記念誌『歩』:兵庫県看護連盟出版 2012年(H24年)
2. 55年の歩み:日本看護連盟出版 2014年(H26年)
3. 60年の歩み:日本看護連盟出版 2020年(R2年)
4. 日本看護連盟 会員ハンドブック 2021年(R3年)改訂

年次的経過

- ・1965年(S40)看護教員養成費の新設に成功。実質的なメリットを引き出し始め、連盟看護研究会で政治教育を集中的に行いました。
- ・1966年(S41)過去の議員活動、議員としての将来性、恩給などの生活問題、会員の支持率から石本議員を次回の候補に推薦が決定しました。
- ・1967年(S42)林 塩議員が正式に自民党入党。
- ・1968年(S43)石本茂候補は看護協会・連盟の国会対策顧問に就任。前議員の特権をもって国会と看護界をつなぐパイプ役を果たすこととなりました。
- ・1970年(S45)自民党入党問題及び看護制度の抜本的改正との関連「制度確立のために」を前提に与党入党の方向付けが行われ入党が可決。石本顧問の入党手続き完了し第三次自民党公認候補となりました。そして自民党入党後、兵庫県連・女性局・国会議員との連携協力が得られるようになりました。
- ・1971年(S46)自民党入党後、第9回参議院選で『石本茂議員当選』。無所属議員の時に実現しなかった看護教育施設への運営費補助、夜間看護手当の支給が実現し、その後、自民党社会部会内に看護問題対策小委員会が設置されました。看護問題対策特別委員会が看護技術者対策議員連盟発足
- ・1972年(S47)その後与党内に看護1問題に取り組む議員の組織ができました。石本茂議員の国政活動報告を主に各地区で研修会の開催、各支援団体との連携活動が開始されました。また、組織代表を国政に送り看護制度・看護問題解決のための検討会が実施されました。
- ・1973年(S48)夜間看護手当大幅アップ。本部から「連盟の手引き」発行。自民党内に看護技術者対策議員連盟及び看護問題対策特別委員会が発足されました。
- ・2023年11月現在 看護職国会議員は衆議院議員:阿部俊子・高階恵美子、参議院議員:石田昌宏・友納理緒議員が『届けよう看護の声を！私たちの未来へ』というスローガンの基、私たち看護職の代弁者として国会で活躍されています。

- 会場:ラッセホール
- テーマ:看護の未来を考える ～政治と看護とは～
- 参加者:69名

当選後の議員活動について報告がありました。
看護問題小委員会は、看護の事だけを話合う委員会で、1992年(平成4年)「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改訂がされていない事への取り組みについて話がありました。



- 1.看護師等の就業の動向
- 2.看護師等の養成
- 3.病院等に勤務する看護師等の処遇の改善
- 4.研修等による看護師等の資質の向上
- 5.看護師等の就業の促進
- 6.新興感染症や災害等への対応に係る看護師等の確保
- 7.その他看護師等の確保に関する重要事項 等



看護師の処遇に取り組んでおられる内容についてお話しがありました。

出産を保険適用にする制度の動きがあり、助産院の今後の在り方についての議論がなされていること、無痛分娩推進の動きがある事を知りました。

意見交換の中で、神戸中部の井田幹事より、病院で働く助産師の現状について報告がありました。無痛分娩におけるタスクシェア、タスクシフトは、現場の助産師に多大な問題を抱えると提起されました。

私が働いている病院は、産科が医師不足により分娩を取り扱わなくなりました。産科で働いていた時にJICA(独立行政法人国際協力機構)から色々な国の方が見学に来られ、意見交換する機会がありました。その中で、分娩の在り方は発展途上国と先進国の違いがある事を知りました。

母子ともに安全で、満足のいく分娩ができるように、現場の声を県・市の議員に届けること、そして看護の代表を国政に送る支援をしていきたいと考えます。

友納議員の人柄に触れ、魅力を感じました。友納議員をみんなで応援していきたいでしょう。

神戸西部地区幹事 仁木 美枝子



施設訪問(阪神地区)

8月、9月に引き続き、服部会長、丸山協会長、角谷阪神北地区幹事、山浦阪神北支部長、清水宝塚支部長とともに以下の施設へ訪問させて頂きました。

お忙しいなか時間を取って頂き、現場でのさまざまな問題や現状をお聞かせいただきました。ありがとうございました。



訪問させていただいた施設

- 10月 4日(水) ・兵庫医科大学ささやま医療センター
18日(水) ・宝塚市立看護専門学校
・丹波医療センター
・大塚病院
・香良病院

- 11月 8日(水) ・東宝塚さとう病院
・ステップこはま訪問看護ステーション
・聖隷訪問看護ステーション宝塚
11月15日(水) ・近畿中央病院
29日(水) ・川西リハビリテーション病院
・ベリタス病院
12月 4日(水) ・兵庫医科大学病院



宝塚を紹介します

宝塚といえば、歌劇ですね。ファンの方も多いと思います。
阪急西宮北口駅から宝塚まで約15分で到着します。駅を降りて『花の道』を歩いていくと宝塚大劇場に到着します。

春は桜、バラが咲き誇り、秋には紅葉が見られます。宝塚歌劇最大のヒット作といえば『ベルサイユのばら』が有名ですが、2024年に初演から50周年を迎えるそうです。



阪急電鉄と宝塚大劇場



「ベルサイユのばら」の銅像



花のみち



宝塚市立手塚治虫記念館

花の道には『ベルサイユのばら』の銅像がありました。花の道を通り抜けると『手塚治虫記念館』が見えます。鉄腕アトムや火の鳥、ブラックジャックなど名作の数々がありますね。数十年前、『鉄腕アトム』を見て夢のような世界だと思いましたが、今は会話ができる家庭用AIロボットができ、AIがどんどん進化しています。大阪万博では空飛ぶ車が運用されます。まさに鉄腕アトムの時に見たことが現実になっていますね。



また、宝塚といえば、『中山寺』があります。阪急電鉄宝塚線中山観音駅から北へ徒歩1分です。中山寺は、聖徳太子の創建によるわが国最初の観音霊場です。そして安産祈願のお寺です。

私も中山さん(中山寺をそう呼んでいます)に安産祈願に行きました。階段が長く険しかったように記憶していますが、今はエスカレーターが設置されています。

皆さまもぜひ一度宝塚に足をお運びくださいませ。



中山寺

阪神北幹事 角谷 智子

バイタル機器連携ソリューション

Evis Cloud

バイタルデータをまとめて送信・まとめて管理。
データ入力業務の負担を軽減、業務効率を最大化します！

医療 IoT 実現への扉をひらく



MISSION

医療業界の IT 分野に

様々な信頼されるソリューションを。

それが私たちの使命です。

Safe medical system 診療と安心を医療現場へ

Doktor

株式会社イードクトル

06-6324-6222 9:00~17:00月~金 (祝日・弊社指定休日除く)

セミナー・製品勉強会・デモンストレーションのご用命は上記までご連絡ください

出前研修に行ってきました～はくほう会医療専門学校明石校～



研修には1年目から3年目までの約120名もの看護学生に参加して頂きました。今回の研修では、日本や世界を取り巻く技術革新の現状と展望、またそれらの技術革新が看護業界の未来にどのような影響を及ぼすのかについて事例を挙げて紹介致しました。

一般的にAIが発達することによって無くなる仕事が多くあげられる中で、「看護師」は無くならない仕事とされています。そういった安心感がある一方で看護師の給与体系は長く勤めても変わらない「寝たきり」と表現されます。

また日本では今後生産年齢人口が大きく減少し、今以上に医療・看護・福祉に携わる働き手の減少が懸念されています。

そんな中、看護師としていつまでも安心して働けるように私たち看護連盟や看護協会、看護職国会議員が取り組んできた働き方改革や処遇改善の活動、また法令改正等も含めてどのような実績をあげてきたかについて説明させて頂きました。

看護学校への出前研修は、学生の中から看護連盟を知ってもらえる機会になるため、これからも積極的に実施し認知度を高めていきたいです。

青年部幹事(Po-mellon委員長) 宮西 由起



兵庫県看護協会
丸山 美津子 協会長
にご挨拶を頂きました



石田昌宏事務所
五反分 正彦 秘書
に講義をして頂きました

研修会のご案内

●兵庫県看護協会・看護連盟合同政策研修会

日時:2023年12月16日(土) 13:30~15:00

会場:兵庫県看護協会

内容:①「公職選挙法について」

講師:自由民主党兵庫県支部連合会
事務局次長 森重 雅之

②誰もができる「後援会活動や選挙運動、陳情・請願活動への知識」

講師:兵庫県看護連盟 副会長 桐月 順子

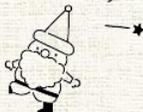
●リーダー研修

日時:2024年3月16日(土) 13:30~16:00

会場:ラッセホール

講師:愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター
助教 内藤 知佐子

参加費:会員…無料・非会員…1,000円



編集後記

2023年も残りわずかとなりましたが、皆さんどのような1年を過ごされたのでしょうか?

看護連盟では 看護学校への出前研修を再開するなど再始動の年となりました。

さて、2024年には医師の働き方改革が施行され、医師の時間外労働の規制が始まります。

これにより今後看護師に求められる役割、スキルがますます高度化・多様化していくことが予想されます。

個人、連盟一丸となって課題に対処し、よりよい看護界にしていきたいと思います。

(広報委員: 仁木、井上、橋本、加集、宮西)

電話、メール、FAX、どの方法でも結構です。
皆様からの情報やご意見をお待ちしています。



兵庫県看護連盟

Hyogo Nursing Federation

〒650-0004神戸市中央区中山手通5丁目1-3

(イトーヨーギョー神戸ビル3F)

TEL:078-382-3150 FAX:078-382-3151

E-Mail: renmei-h@ceres.ocn.ne.jp

べたつかないのに、しっとりキープ。

仕事でもキレイに、ストレスフリー。



「羽毛ケラチン」配合
テルネス プロテクトシリーズ
皮膚保護・保湿クリーム/ローション
医薬部外品

